



Logico  HP



### 取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

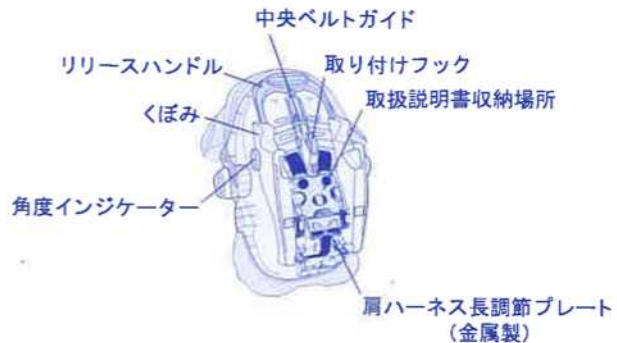
(ベビーシート本体・裏)



(ベース)



(ベビーシート本体・裏)



## はじめに

本製品を安全に正しくご使用いただくために、必ず事前に本書をよくお読み、内容を十分に理解していただきますようお願いいたします。

本書は、お読みになった後も、使用ごとに必要となりますので、本体背面にある保管場所に収納して大切に保管してください。

お子様の安全のために、本書にある取り扱い方法に従ってご使用ください。

お子様の安全は、何より、保護者の方によって守られます。

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたい内容を赤い文字で記載しております。

本書をお読みになる前に、本製品を取り付ける車の取扱説明書もご用意ください。本書に記載された内容とともに参考にする場合があります。

本製品は、乗車中の衝突や急停車などによるお子様の傷害を軽減することを目的とした乳児用補助乗車装置です。必ずしもお子様を無傷で守るものではありません。

チャイルドシートのご使用にあたっての法規、安全基準などは各国によって異なります。詳しくは行政機関もしくは、自動車メーカーなどにお問い合わせください。

## 安全基準について

欧州安全基準は、チャイルドシートの構造、性能、部品、取り付け、使用条件、取扱説明書及び表示を規定しております。

本製品は、欧州安全基準ECE R44.04の適合品です。

ユニバーサル/セミ・ユニバーサル、グループ0+、13kg未満の乳児用補助乗車装置です。

認証番号は製品の背面に貼付されております。はがさないようにしてください。

### —注意—

#### 【チャイルドシート】

本製品（チャイルドシート）は、ユニバーサルの乳児用補助乗車装置です。

また、車の一般的な使用を前提とした規則番号44.04改定シリーズで認可されており、ほとんどの車の座席に適合します。

本製品は、UN/ECE規定番号16、または同等の基準で認可された3点/巻取装置機能付きシートベルトを装備している車に適しています。

#### 【ベース】

本製品（ベース）は、セミ・ユニバーサルの乳児用補助乗車装置です。

また、車の一般的な使用を前提とした規則番号44.04改定シリーズで認可されており、ほとんどの車の座席に適合します。但し、座席の形状などにより使用できない車種がありますので、ご了承ください。

取り付け確認車種リストにつきましては、ページ35を参照してください。

本製品は、UN/ECE規定番号16、または同等の基準で認可された2点式シートベルト、もしくは3点/巻取装置機能付きシートベルトを装備している車に適しています。

取り付け確認車種リストは、車のモデルチェンジや仕様変更などにより適合しない場合があります。販売店にて取り付け確認を行ってください。

## 安全にお使いいただくために

本製品を安全に正しくお使いいただくために、必ず事前に本書をよく読み、内容を十分に理解していただきますようお願いいたします。

37週未満で生まれたお子様は、車内では大変大きな危険にさらされる場合があります、細心の注意が必要です。早産のお子様は、チャイルドシートに座らせた際に、呼吸困難に陥ることがあります。退院時に使用するチャイルドシートについて、医師もしくは、病院内の専門家にご相談することをお勧めいたします。

エアバッグが装備されている座席への本製品の取付けはできません。エアバッグが作動した際に、お子様に強い力が加わって死亡や重傷に至る危険性があります。

可動式座席やスライドドアによって、事故などの緊急事態の際に脱出できない位置にある座席へは本製品を取り付け不要ご注意ください。

シートベルトが正しく調節され、緩みやねじれなどがないことを確認してください。

本製品を取り付けた座席の真後ろに人を座らせないでください。やむを得ない場合は、必ず最も体重の軽い方を座らせるようにしてください。衝突事故などの場合、体重が軽い方がお子様へ与える影響を最小限に留める可能性が高くなります。

乗車している方は必ずシートベルトをするように徹底してください。衝突事故などの際にシートベルトをしていない方が投げ出され、他の同乗者も危険にさらされるおそれがあります。

走行中にお子様を本製品から移動させたり、本製品の取り付けや操作をしないでください。お子様の移動、取り付けの確認及び操作は必ず安全な場所で停車して行ってください。

本製品を使用しない場合は、安全な場所に保管してください。また、重いものを本製品の上に置かないでください。

本製品を使用する際に、必ず正しく取り付けられていることを確認してからお子様を乗せてください。

本製品の破損、異常などがないか定期的に点検を行ってください。

可倒式の座席は、固定されていることを確認してください。

お子様が車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子様を車内に置き去りにしないでください。特に夏場は車内が高温になり大変危険です。

衝突の際に傷害を与える可能性のある荷物などは適切に固定するか、トランク内に収納するようにしてください。

本製品を改造しての使用、または本書に記載されていない取り付けや使用をしないでください。本製品の性能が十分に発揮できない場合があります。

本製品のシートカバー、クッションを外しての使用、またはシートカバーを取り付けるなど正規品以外のものを付加しての使用は止めてください。

本製品の下には何も置かずに取り付けをしてください。衝突の際にベルト類が緩み、しっかりと固定されないため、大変危険です。

お子様を乗せるための特別な設計の場合を除き、車のハッチバックやステーションワゴンの車体後部の荷物収納スペースにお子様を座らせないでください。

お子様が乗っていないときも必ず車のシートベルトで本製品を固定してください。急ブレーキなどで本製品が車内を転がり、事故につながるおそれがあります。

事故や落下により本製品が強い衝撃を受けた場合は、本製品の使用をおやめください。外観上破損がわからなくても強度が低下している場合があります。



事故などの緊急事態に備えて、バックルは簡単に外せるように設計されています。チャイルドロック機能にはなっていません。好奇心旺盛なお子様がバックルや他の部品に触らせないようにご注意ください。

本製品は、新生児用ベビーキャリーやラックとしてもご使用いただけます。お子様を乗せて移動させる際にはハンドルが持ち運びやすい上の位置にしっかりと固定されていることを確認してください。また、ハンドルを後部に回し、リクライニングもしくは座位に固定することも可能です。

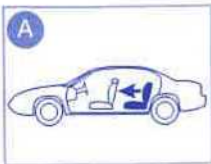
本製品をテーブルやカウンターの隅、マットレスやクッションなどのやわらかい場所に置かないでください。お子様がいた際、転倒・落下などのおそれがあり、死亡や重傷に至る危険性があります。

本製品を直射日光にさらさないでください。金属部や樹脂部が熱くなり、やけどをするおそれがあるので熱くないことを確認してからご使用ください。

## 適応条件

必ず本製品の適応条件を守りください。

- ・適応体重： 2500g以上13kg未満
- ・参考年齢： 新生児～1歳半ごろ
- ・取付状態： 後ろ向き



## チャイルドシートの取り付け位置を決めるには

☒ A) 本製品は必ず、進行方向に対して前向きの座席に取り付けてください。本製品は助手席、後部座席のいずれにも取付けが可能です。但し、エアバッグを装備した座席の取り付けはできません。必ずエアバッグの有無を確認してください。

☒ B) 進行方向に対して後向きの座席には取り付けないでください。

☒ C) エアバッグを装備した座席には取り付けないでください。

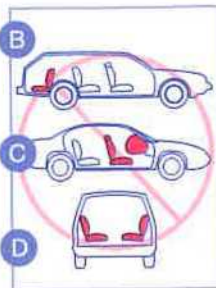
☒ D) 進行方向に対して横向きの座席には取り付けないでください。

チャイルドシートのみを使用の場合、ECE規定番号16または同等の基準で認可された3点/巻取装置機能付きシートベルト装備の車でなければなりません。

ベースは2点式シートベルト、もしくは3点/巻取装置機能付きシートベルトのどちらの場合でも使用が可能です。

座席のスライド、またはリクライニングが固定されない座席には決して本製品を取り付けないでください。

破損している座席には本製品を取り付けないでください。



## 警告：

### チャイルドシートを単独で使用する場合

本製品は、ユニバーサルの子供用補助乗車装置です。

また、車の一般的な使用を前提とした規則番号 44.04 改定シリーズで認可されており、ほとんどの車の座席に適合します。

### ベースを使用する場合

本製品は、セミ・ユニバーサルの子供用補助乗車装置です。

取り付け確認車種リストをご確認ください。

エアバッグが装備されている車の座席へは取り付けないでください。

## 肩ハーネスの調節

チャイルドシートを使用する前に、ハーネスをお子様の成長に合わせて調節してください。

### ステップ1

お子様にはきちんと服を着せてください。股ベルトが安全に取り付けられるよう、パンツ型の服装にしてください。

### ステップ2

お子様をチャイルドシートに座らせてください。お子様の背中・お尻とチャイルドシートの上に隙間がない状態で座っていることを確認してください。

図1) 正しい座り方

図2) 間違った座り方  
— 隙間がある状態 —



### ステップ3

肩ハーネスが正しい高さに調節されていることを確認してください。肩ハーネスはお子様の肩の高さに最も近く、かつ肩より下の位置の肩ハーネス通し穴に通します。

図3) 正しい肩ハーネスの位置

図4) 間違った肩ハーネスの位置  
— お子様の肩より上の位置 —

特に小さな乳児には、肩より上の位置の肩ハーネス通し穴に肩ハーネスを通した状態で使用することはおやめください。衝突の際にお子様をしっかりと支えることができない可能性があります。

図5) ステップ4

肩ハーネス通し穴の位置を変える場合は、まずお子様を降ろしてからチャイルドシート前部にある肩ハーネス調節ボタンを押して、肩ハーネスを引っ張りながらゆるめます。





図 6 ) ステップ5  
チャイルドシートの背面にある肩ハーネスの先端を肩ハーネス長調節プレート（金属製）から外し、肩ハーネス通し穴から抜き取ります。適切な高さの肩ハーネス通し穴に肩ハーネスを通し直し、肩ハーネスの先端を肩ハーネス長調節プレートに戻します。肩ハーネスの先端には、2つのポジションがあります。A及びB。



図 7 ) 体格が小さめな乳児には、肩ハーネスの先端Aにプレートを取り付け、図のように低い位置にある肩ハーネス通し穴を使用してください。

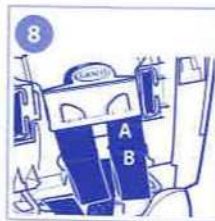


図 8 ) 図のように肩ハーネスの先端がプレートの前にかかるように取り付けてください。



図 8A ) 誤 — 肩ハーネス先端がプレートの後ろにかかっている状態



図 9 ) 肩ハーネス先端を持ち上げ、肩ハーネスにプレートが確実に通っていることを確認してください。



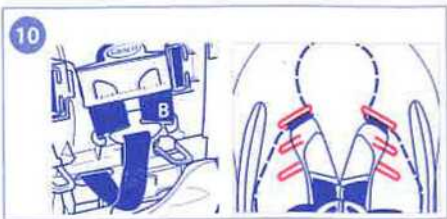


図10) 体格が大きめな乳児には、肩ハーネスの先端Bにプレートを取り付け、図のように高い位置にある肩ハーネス通し穴を使用してください。

肩ハーネスの先端が完全にプレートに取り付けられていることを確認してください。

**警告：**肩ハーネスを通す際には、必ず本書の説明に従ってください。肩ハーネスが正しく取り付けられていない場合は、お子様を守ることに支障をきたす可能性があります。

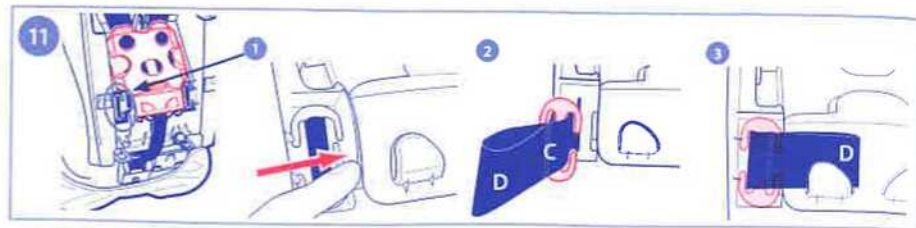


図11) 体格が小さめな乳児には、腰ハーネスを短く調節することができます。

1. 図のようにタブを押すことによって金属性のアンカークリップを取り外すことができます。
2. アンカークリップを腰ハーネスの先端Cに取り付けて、しっかりと固定します。
3. アンカークリップを元の場所に固定し、図のように腰ハーネスの先端をストレージに引っ掛けて固定してください。

反対の腰ハーネスを同様の手順で調節してください。

シートの前方から腰ハーネスを引っ張り確実に固定されていることを確認してください。

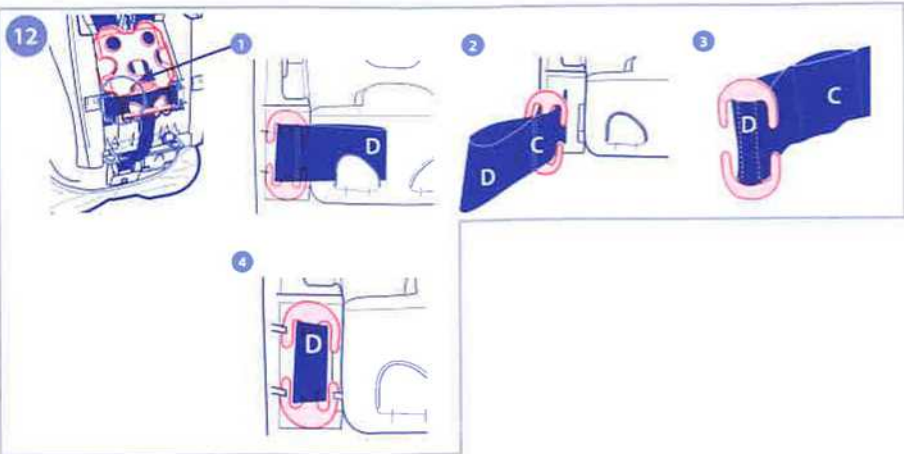


図12) 体格が大きめな乳児には、腰ハーネスを長く調節することができます。

1. アンカークリップを取り外してください。
2. アンカークリップを腰ハーネスの先端Dに取り付けて、  
図の通りしっかりと取り付けられていることを確認してください。
3. アンカークリップを元の場所に固定してください。

反対の腰ハーネスを同様の手順で調節してください。  
シート前方から腰ハーネスを引っ張り確実に固定されていることを確認してください。  
骨盤がしっかりと固定されるように腰ハーネスを低い位置で着用してください。



## ハンドルの調節

図13) ハンドルラッチ（ハンドルの下にある赤いレバー）を左右同時に押し、ロックを解除してください。

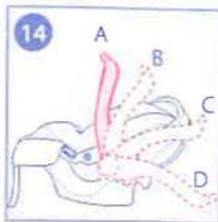


図14) ハンドルを回し、状況に合わせて4つのポジションのいずれかに調節してください。

- ポジションA(上) :  
使用するには、必ずハンドルをこの位置に調節してください。
- ポジションB及びC :  
必要に応じてご使用ください。
- ポジションD(下) :  
ベビーチェア/ラックとしてご使用いただく際、揺らさず固定するための位置です。

**警告：チャイルドシートとしてご使用するには、ハンドルは上方(ポジションA)に固定されていることを確認してください。衝突などの際に衝撃をやわらげる効果があります。**

**お子様を本製品から乗せ降ろしする際には、ハンドルを下げてください。**

## お子様の座らせ方

- 図15) ステップ1  
チャイルドシートのハーネスを本体左右にある伸縮性ストラップに通して、お子様をチャイルドシートに乗せます。お子様の背中とお尻がチャイルドシートに対して隙間がないように座らせてください。

- 図16) ステップ2  
肩ハーネスの左右のタングを合わせます。

ステップ3  
合わせた肩ハーネスのタングをバックルに差し込みます。バックルが外れないよう、しっかりと差し込まれていることを確認してください。

ハーネスがねじれていないことを確認してください。  
お子様の身体に沿って支えるように取り付けてください。



- 図16B) ステップ4  
ハーネスの長さをきつく調節するには、図のようにシート前方にあるハーネス長調節ストラップを引っ張ってください。

ハーネスがお子様の身体にぴったりと合っていることを確認してください。お子様とハーネスの間には指2本以上の隙間を開けないようにしてください。

本製品をチャイルドシート、あるいはキャリアとして使用する際には必ずハーネスを着用してください。

ハーネスが緩んだ状態や肩からすり落ちている状態、またはハーネスをしていない状態では決してお子様を車に乗せないでください。お子様が頭から投げ出される危険性があります。

過剰摩擦のため、定期的にハーネス及びバックルを点検してください。  
バックルが変形したり、ハーネスにほつれがあったりした場合、部品の交換をしてください。

## 車への取り付け方

肩ハーネスの位置を正しく調節し、取り付ける座席を決めましたら、次の方法で取り付けを行ってください。

取り付け方法はベースを使用する場合と使用しない場合によって異なります。

### 取り付け位置の確認

チャイルドシート、またはベースを進行方向に対して後向きに置いてください。

このとき、エアバッグが装備されていないことと適切なシートベルトが装備されていることを必ず確認してください。

チャイルドシートのハンドルが上のポジションにあることを確認してください。(ページ19を参照してください)

車ではハンドルが下のポジションで使用しないでください。

本製品は、決して車の進行方向に対して前向きの状態で使用しないでください。死亡や重傷を招くおそれがあります。



## ベース使用の場合

図17) ステップ1  
サポートレッグをカチッと音がするまで持ち上げます。

**警告：指を挟まないようご注意ください。**

図18) ステップ2  
ベースを車の座席に密着するように置きます。  
レッグ長調節ボタンを押しながらサポートレッグが車の床面に接するように調節します。  
ベースの前部を押し下げ、サポートレッグがしっかりと固定されていることを確認してください。  
サポートレッグは、段差のない床面に取り付けてください。

図19) サポートレッグの正しい接地場所

図20) サポートレッグの誤った接地場所



### ステップ3

ベースを使用し、チャイルドシートを取り付ける際は、必ずロックオフ部品を使用し、腰シートベルト、あるいは腰/肩シートベルトを固定します。



- 図21) 1.  
ロックオフを開けて、ベース左右にあるシートベルト  
通し穴にシートベルトを通してください。このとき、  
図の通りシートベルトをロックオフのベルトパスの上  
を通るようにしてください。



- 図23) 2.  
シートベルトのバックルを留め、ベースに膝で体重を  
かけて座席に押し付けながら、シートベルトをきつく  
締めて固定してください。



- 図24) 3.  
腰シートベルト、あるいは腰/肩シートベルトの上で  
ロックオフを閉じます。ロックオフがしっかりと固定  
されていることを確認してください。

4. ベースを前後、左右、上下に動かし、シートベルトがしっかりと固定されていること  
をご確認ください。ベルトが伸びたり、緩んだりした場合、再度取り付けを行ってくだ  
さい。

ロックオフにシートベルト以外のものが挟まれないことを確認してください。シートベルト  
の他の部分がロックオフにあたるようなことがあった場合は、他の座席で取り付けを行っ  
てください。

#### ステップ4

警告：チャイルドシートをベースに固定する際に、肩シートベルトが間に挟まれないようにしてください。



- 図D シートベルト通し穴
- 図E シートベルトロックオフ
- 図F シートベルト

図24) 2点式シートベルトのみを装備している車の場合は、図のようにシートベルトを通してください。但し、シートベルトのパックル部分がベルト通し穴を通り抜けないように固定してください。



図25) ステップ5  
カチッと音がするまでベースにチャイルドシートを押し入れ固定してください。チャイルドシートを上方へ引っ張り、しっかりと固定されていることをご確認ください。

チャイルドシートがしっかりと固定されない場合は、ベースの使用をお止めください。

## 角度インジケータの使用方法

チャイルドシート側面には、車の座席にチャイルドシートを取り付けた際の適切な角度を確認するための角度インジケータがあります。**お子様の安全のために、適切な角度でチャイルドシートを取り付けることが大変重要です。**角度インジケータを正しくするためには、車を傾斜のない平坦な場所に駐車する必要があります。

角度インジケータが青色のみを表示している場合は、チャイルドシートが適切な角度で取り付けられています。



## ベースのリクライニングの調節

リクライニング調節ノブを回すことによってベースを好みの高さに調節することができます。

図26) 時計回り：下がる

図27) 反時計回り：上げる



ベースが直立状態、または倒しすぎたりしたために角度インジケータにオレンジ色を表示している場合は、角度インジケータに青色が表示するまでシートを調節してください。





図28) ステップ5

ベースからチャイルドシートを取り外すには、チャイルドシートの背面にある赤いリリースハンドルを握り、ベースからチャイルドシートを外してください。



図29) チャイルドシートからお子様をおろす際には、必ずハンドルを下げてください。ハーネスを開ける際、ハンドルが下がっている場合には、ハンドルを上げてからバックルの赤いボタンを押すとバックルからタンクが外れます。

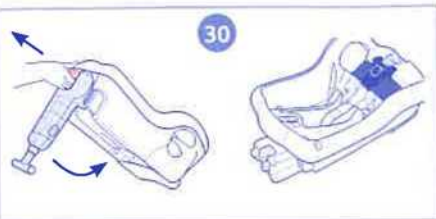


図30) ステップ6

ベースのサポトレッグを折りたたむには、チャイルドシートを取り外してから図のようにハンドルを強く引いてください。

### ステップ1

チャイルドシートをエアバッグが装備されていない、正規のシートベルトが取り付けられた、進行方向に対して前向きの座席に取り付けてください。チャイルドシートを車の後部に向けて設置してください。チャイルドシートのハンドルが上がっていることを確認してください。

チャイルドシートのハンドルが下がっている状態で使用しないでください。

チャイルドシートを進行方向に対して絶対に取り付けしないでください。進行方向に対して使用された場合には、重傷や死亡事故に至る危険性があります。





図3 1) ステップ2

車のシートベルトをチャイルドシートの腰ベルトフック(図A)に通し、車のバックルに留めます。そのシートベルトをチャイルドシートの背面に回し、背面にあるくぼみ(図C)に通し、さらに、背面にある中央ベルトガイド(図B)に通してください。

ステップ3

チャイルドシートが車の座面と背もたれに密着するように体重をかけて押し込みます。同時に、車の肩シートベルトを強く引っ張り、シートベルト全体のたるみがなくなるようにしっかりと締めます。

角度インジケーターを利用し、チャイルドシートが正しい角度で取り付けられていることを確認してください。

チャイルドシートに十分に体重をかけて座面に押し付けながら、シートベルトを強く引くとより確実に取り付けられます。



図3 2) **チャイルドシートを極端に起こした状態でのご使用はお止めください。** お子様の頭が前に倒れこみ、呼吸困難を引き起こす原因となる可能性があります。



図3 3) **チャイルドシートを極端に倒した状態でのご使用はお止めください。** 急停車や衝突などの際に、お子様の首や肩に大きな衝撃を与えるおそれがあります。

図3 4) 角度インジケーターを確認する際は、目線を角度インジケーターと同じ高さに合わせて、正面から確認してください。

**角度インジケーターが青色のみを表示している場合は、チャイルドシートが適切な角度で取り付けられています。**

チャイルドシートの起こしすぎや倒しすぎなどにより、角度インジケーターが少しでもオレンジ色の部分を表示している場合には、角度インジケーターが青色のみを表示するようにチャイルドシートの角度を調整してください。



可能な限りシートベルトをきつく締めるようにしてください。チャイルドシートを前後、左右、上下に動かし、確実に車のシートベルトで固定されていることを確認してください。

警告：チャイルドシートが確実に固定されていない座席での使用は絶対にお止めください。固定されていないチャイルドシートやベースを車に置かないでください。急停車や衝突事故などの際に投げ出され、同乗者に危険をさらし、重傷や死亡事故に至る危険性があります。

下記はベースを使用した場合の取り付け確認車種リストとなります。

○ = 取り付け可能

メーカー	モデル	型式	年式	座席	
トヨタ	パッソ	QNC10,KGC10,15	H16/6～	後部サイド	○
ニッサン	ノート	E11,NE11	H17/2～	後部サイド	○
ホンダ	ストリーム	RN6～9	H18/7～	2列目サイド	○
マツダ	アクセラ/アクセラスポーツ	BK#P系	H15/10～	後部サイド	○
三菱	デリカD:5 7人乗り	CV5W	H19/1～	2列目サイド	○
スバル	レガシー ワゴン	BP系	H15/5～	後部サイド	○
ダイハツ	ブーン	M300S,301S	H16/6～	後部サイド	○
スズキ	セルボ	HG21S	H18/11～	後部サイド	○
BMW	5 シリーズ		2004/6～	後部サイド	○
MERCEDES BENZ	C クラス	203系	2000/9～	後部サイド	○

## お手入れとメンテナンス

定期的にチャイルドシート及びベースを点検してください。破損や異常があった場合には、本製品を改造、修理を行わないで、買い換えるようにしてください。

取り外し可能なシートカバーは、洗濯機で冷水・弱水流にて洗濯し縛らずに形を整えてから干してください。

本製品の金属及び樹脂部分のお手入れには、家庭用洗剤もしくは住居用洗剤とぬるま湯を使用してください。漂白剤・アルコール・研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。

ハーネスは、水に浸したりしないでください。強度に影響を与える可能性があります。汚れた場合には、部分的なお手入れをしてください。

チャイルドシートのハーネス及びバックルを定期的に点検してください。バックル部分に破損があったり、ハーネスが傷んでいる場合は、直ちにチャイルドシートの使用をお止めください。

バックルには注油しないでください。

シートカバーなしでチャイルドシートの使用はお止めください。

通常使用による商品の消耗や傷み、車のシートベルト機能の技術進歩や欧州安全基準の改定などを考慮し、チャイルドシート及びベースは5年が経過しましたら、使用を中止し、新しい物に買い換えるようにしてください。

古いものはお住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

## トラベルシステム

本製品（チャイルドシート）は、専用のトレイやアームバーを持つグレコの特定期間のベビーカーに装着することができます。

本書と一緒に面ファスナー付ストラップが同梱されております。

**警告：**一部のトラベルシステム対応のベビーカーには、面ファスナー付ストラップがあらかじめ縫い付けられているモデルがあります。その場合には、チャイルドシートをベビーカーへ取り付ける説明のステップ1を飛ばし、ステップ2へ進んでください。また、面ファスナー付ストラップが付属されないベビーカーもあります。その場合には、ベビーカーの取扱説明書を参照してください。



図 35) ステップ1

ベビーカーの背もたれ後部にあるストラップに、チャイルドシートと一緒に同梱されている面ファスナーの短い面を通し、面ファスナーでストラップを固定します。

### ステップ2

ベビーカーの背もたれを、最も水平に近いポジションまで倒します。  
トレイやアームバーがしっかり固定されていることを確認してください。

図 36) ステップ3

ベビーカーにチャイルドシートを取り付けます。このとき、チャイルドシートのくぼみを、アームバーもしくはトレイの上に合わせて装着してください。チャイルドシートを上方へ引っ張り、しっかりとベビーカーに取り付けられていることを確認してください。

図 37) ステップ4

ベビーカーの背もたれに取り付けた面ファスナー付ストラップの先端を、チャイルドシートの前面にある肩ハーネス長調節ストラップのD型リングに通し、面ファスナーでしっかりと固定します。

図 38) ステップ5

チャイルドシートをベビーカーから取り外すには、まず、面ファスナー付ストラップをD型リングから外します。チャイルドシートの背面のリリースハンドルを引き上げ、トレイやアームバーに固定された取り付けフックを解除し、チャイルドシートをベビーカーから離します。

**警告：**トラベルシステムとしての使用の際は、チャイルドシートの上に1人のお子様を乗せてください。

**警告：**短時間であっても、チャイルドシートのハーネスは必ず着用してください。





- ・アフターサービスについて  
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。  
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）  
また製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

## アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231 奈良県奈良市郡祁吐山町2364-5

アップリカ 奈良サービスセンター ☎(06) 4300-4949

## 注意事項

## チャイルドシートを単独で使用する場合

1. 本製品はユニバーサルの乳児用補助乗車装置です。車の一般的な使用を前提とした規則番号44.04改定シリーズで認可されており、ほとんどの車の座席に適合します。
2. 車の取扱説明書にユニバーサルの幼児用補助乗車装置を取り付けられることが記載されていることをご確認ください。または、車のメーカーにお問い合わせください。
3. 本製品は本項を記載されない以前の型番より、より厳しい条件で認可されています。
4. 本製品は、UN/ECE規定番号16、または同等の基準で認可された3点／巻取装置機能付きシートベルトを装備している車に適しています。

エアバッグが装備されている車の座席へは取り付けないでください。

## ベースを使用する場合

本製品は、セミ・ユニバーサルの乳児用補助乗車装置です。車の一般的な使用を前提とした規則番号44.04改定シリーズで認可されており、ほとんどの車の座席に適合します。但し、座席の形状などにより使用できない車種がありますので、ご了承ください。

取り付け確認車種リストを参照してください。

ご不明な点がございましたら、メーカーまたは販売店にお問い合わせください。

## 保管の仕方

- 本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- 夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
- 荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

## 廃棄方法

- お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。  
(地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。)

## 保証規定

- (1) 製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- (2) 保証期間中に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合は無償修理をいたします。
- (3) 保証期間中でも次の場合には有償になります。
  - a. 保証書の提示のない場合
  - b. 保証書にお買い上げ日、販売店の記載がない場合、または字句を書き換えられた場合
  - c. お客様の誤った使い方やお手入れ不良、または改造や不当な修理による故障や損傷
  - d. 製品の自然劣化(メッキ部の錆、塗装部の剥がれ、樹脂製品・樹脂部の紫外線劣化など)
  - e. 消耗品など
  - f. シートなど樹脂製品の傷や破れ、その他の破損
  - g. 災害や外部要因などによる故障や損傷
  - h. 修理に要する運賃などの諸経費
- (4) 製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。
- (5) 一度で使用になった製品は、原則として他の製品にお取り替えできません。
- (6) 事故や落下など、強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
- (7) 日本国内においてのみ有効です。Effective only Japan

## 保証書

日本国内においてのみ有効です。

Effective only Japan

製品名	ロジコス	ロット番号	
お買い上げ年月日	年 月 日	保証期間	お買い上げより1年間 (保証範囲による)
お客様	ご連絡先  お名前	販売店	住所  店名

お買い上げ後、販売店名を確認し製品名・ロット番号・お買い上げ日をご記入ください。  
再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、保証規定に明示した期間、条件のもとに無償修理をお約束するものです。  
従ってこの保証書によりお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、  
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、当社に直接お問い合わせください。